

区分：人文・社会科学

授業科目名	経済と経営（政治経済学）				学期	曜日	校時
英語名	Economics and Business (Political Economy)						
担当 教官名	高倉泰夫	単位数	2単位	必修 選択	選択	前期	月曜日 校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>現在の資本制経済の諸特徴について述べる。あわせて、その各国別に相違する経済構造の理解とともに、今後の動向についても理解を深めることにする。[資本制経済の歴史には講義の中で折々にふれてみたい。]</p> <p>なお、諸特徴の中では、「資本制と家事労働」、グローバリゼーション、制度の必然性や環境問題などにふれることで、資本制社会を経済から見るとどのように見えるかということの実例としたい。そのためにも、毎回資料を配布し、それらとテキストとを組み合わせながら授業を進める。黒板の板書だけでなく、人が言ったことをまとめてノートをとることも重要である（社会人になるためには、そして国際化のなかでは一層）。</p> <p>講義の中では、資料中の図表のデータを重視し、思い込みではなく、客観的な事実に基づいた思考を進めることにしたい。つまり都合のいいデータだけでなく、都合の悪いデータも直視することから養成される現実把握力と対策の思考とに少しでも近づくようにしたい。</p>							
テキスト、教材等							
<p>テキスト： 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』講談社〔現代新書〕、2002年。</p> <p style="padding-left: 40px;">上野千鶴子・辛淑玉『ジェンダー・フリーは止まらない!』松香堂書店、2002年</p> <p>毎回資料を配布する。</p>							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	小テスト、レポートの内容、および定期試験（小テストを含む）の点数による。						
授業計画							
<p>第1回 資本制経済とは何か？</p> <p>第2回 資本制経済とその歴史</p> <p>第3回 レギュレーション理論について</p> <p>第4回 "</p> <p>第5回 資本とは何か？</p> <p>第6回 経済成長と国民所得</p> <p>第7回 大量生産・大量消費と経済成長（日本の1960年代も素材とする）</p> <p>第8回 経済成長と環境問題</p> <p>第9回 資本制と家事労働</p> <p>第10回 グローバリゼーションについて</p> <p>第11回 現在の資本制経済について（小括）</p> <p>第12回 制度と資本制経済</p> <p>第13回 日本的経営はどこへ？</p> <p>第14回 21世紀初頭の資本制経済は？</p>							